



第375号

2018年 1月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

1月1日 世界平和の日

1月18日から 25日まで キリスト教一致 祈祷週間

1月28日 世界こども助け 合いの日・献金

教区ホームページ

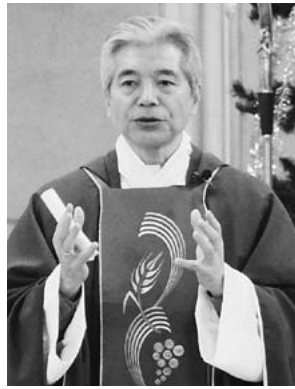
福音のひびき

1月の説教者

- 1日 神の母聖マリア 片岡 義博 (富山地区教会)
7日 主の公現 サンティアゴ・エドガルド (南山教会)
8日 主の洗礼 三上 和久 (三馬教会)
14日 年間第2主日 レイナルド・ティボン (大垣教会)
21日 年間第3主日 イグナシウス・クリスティアヌス・バサ (平針教会)
28日 年間第4主日 寺尾 総一郎 (膳棚教会)

2018年 新年のあいさつ 信仰をあかしし、世にある責任を果たす

教区司教 松浦悟郎



2018年 1月1日、私たちは主の降誕の喜びのうちに新しい年を迎えました。この一年、世界が平和でありまようにと、また名古屋教区の皆さまにとつてすばらしい年になりますようにとお祈りします。

教皇は毎年、年の初めに世界平和メッセージを出し、すべての人が大切にされ、平和に生きることをできるように呼びかけます。それは、世界がどんな状態であっても希望を失うことなく、平和のために祈り、行動するようにとの励ましでもあります。たしかに、日本、東アジア、そして世界は平和に向かうどころか、不安定とさまざまレベルでの軍事的緊張が高まっていると言えらるでしょう。しかし、力に頼ることで安心を得ようとするのではなく、私たちのところに来てくださったキリストの姿こそが、揺るがない平和の礎であり希望であることを思い起こし、今一度、教皇の呼びかけに添えて、共に平和への決意を新たにいたします。

さて、名古屋教区では昨年、司教教書の中でも特に、「一つの教区」を目指してさまざまな取り組みをしてきました。司祭の生活費を教区民全体で負担する制度、教区評議会の新しい形での出発、新設した社会委員会の活性化、一粒会を会員制から教区全員参加型に発展させていくことなどです。それは「新しいぶどう酒は新しい皮袋に」入れるためのもので、今年はその取り組みを具体化して歩みだす年となります。 これらのことは単なる制度改革ではなく、教区

が一つとなつて生き生きと使命を果たしていくためのステップです。司教教書に引用した教皇フランシスコの言葉を再度、紹介します。

「あまりに長い間教会を特権のとりでに閉じ込めていた壁が崩れ、新たな方法で福音を告げる時が到来していったのです。たえず続けられている福音宣教の新しい段階です。すべてのキリスト者が、より熱心に確信をもって信仰をあかしするための新たな取り組みです。教会は、御父の愛の生き生きとしたしるしとして世にある責任を自覚したのです」(「いつくしみの特別聖年公布の大勅書」)

私が今年、皆さんと一緒に取り組みたいことは、上記に引用した教皇の言葉(傍線部分)、すなわち、(1)より熱心に確信をもって信仰をあかしする、(2)世にある責任を果たしていく、ことです。このために、次のことを参考にしてください。

\*一人ひとりが自分の生活の場でのように信仰をあかしできるか、福音を伝えることができるかをいろいろなか場分ち合い、小さくてもよいから実際に踏み出してみる。

\*8月6日15日の平和週間や11月23日24日に名古屋教区で行われる「正義と平和全国集会」への取り組みを通して、私たちがつくっている社会(世界)の現実を知り、その中でキリストに従う者としての責任を果たしていく一歩を踏み出す。

最後にになりましたが、2月10日11日に名古屋教区の青年たち主催による「全国青年ネットワーク・ミーティング」が富山で開催されます。100人を越える全国からの参加者を迎えるために、北陸、東海の青年たちが一生懸命準備をしています。どうぞ皆さんの暖かい支援と一人でも多くの青年が参加できるように各小教区で勧めてください。

皆さま、今年もどうぞよろしくお祈りします。感謝のうちに。

鹿児島で日韓司教交流会

高齢化と格差の社会

教会の果たす役割は?

第23回「日韓司教交流会 鹿児島市の霧島市と鹿児島市で行われた。テーマは「高齢者と教会」。日本と韓国の教会それぞれ側の側から高齢者の問題を考察した。

最終日には共同平和声明「北東アジアの平和を願って」を掲げ、北東アジアにおいて軍拡競争ではなく、平和への対話努力を訴えた。

二日目は霧島市のホテルで、韓国のテオパノ・イ・ゲヨン修道女(聖家小婢女会)が「二極化・高齢化が加速していく韓国と、教会の役割」について、日本の結城康博教授(淑徳大学)が「高齢者と社会」をテーマとして講演した。

イ修道女によれば、韓国では高齢化貧困率が49.6%にも及び、高齢者の四人に一人が古紙回収で生計を立てているなどのほか、虐待、孤独死、自死などの現実を語り、

韓国から22人、日本から15人の司教、写真、駐日教皇大使、それぞれの司教協議会スタッフなど、総勢約50人が参加した。

教会の果たすべき役割を問いかけた。高齢者の一人暮らし、老夫婦世帯の増加、認知症の問題、介護疲れなどの日本の現実を示した結城教授は、さらにシンガポールテレビ局と協力制作した孤独死の現場を整理する業者を描いた動画を公開。腐敗した遺体、ウジのわいた部屋などの映像はショッキングなものだった。

最終日は鹿児島カテドラルで三日間を振り返り、平和声明を発表し、韓国カトリック司教協議会会長キム・ヒジュン大司教(クワンジュ教区)の主司式でミサをささげた。

(資料提供・カトリック中央協議会広報)

平和声明「北東アジアの平和を願って」

わたしたち日韓カトリック司教たちは過去23年の間毎年集い、両国民が過去の不幸な歴史を乗り越え、正義と平和の満ち溢れる明るい未来へと共に歩んで行くために真摯な対話と多様な交流を続けて参りました。わたしたちは両国が隣国として古来様々な物と人の交流を積み重ねており、グローバル化された今の時代には、喜ばしいことに経済と文化の面において一層深いかわり分ち合いが行われ、共にアジアの平和のために大きく貢献できる関係を打ち立てていると考えています。

しかし、今日、北東アジアに漂っている不安な情勢はかなり憂慮する事態になっています。北東アジア諸国は、それぞれ他の同じ政治体制の国々と繋がり、軍力によって自国の安全と繁栄をはかろうとしています。そのことが、各国に脅威と不安を与え、緊張状態を生み出しています。そこで、わたしたち日韓両国の司教たちは、北東アジアの平和を心から願ひ、ここに声明を発表することにしました。

神は、人間が紛争解決のためにつねに戦争に訴えるという悪習を絶ち切ることを切に求めています。すべての人は、軍拡競争も核兵器による抑止も確実ではほんとうの平和を保障するのではなく、かえって戦争の危険性を増大させるということを深く認識し、「真の平和は相互の信頼の上にしか構築することはできないという原則」(教皇ヨハネ二十三世)に立つべきだとわたしたちは主張します。また軍備増強に莫大な富が費やされることは貧しい人々を耐えがたいほどに痛めつけ、環境をますます悪化させていることも容認できないことです。すべての人、とくに国家元首および軍の指導者は、神と全人類の前において世界の平和に対する重大な責任をたえず考慮し、平和に向けた対話のためにあらゆる努力を続けるべきです。

暴力は人間の尊厳を損ない、悲惨な結果をもたらすだけの愚かな手段です。人はだれでも、同じ人間として信頼と愛によって結ばれるかぎり、暴力にも打ち勝つことができるはずで。わたしたち日韓の司教たちは、武力ではなく神に信頼し、兄弟愛を積極的に実践しながら、平和建設に取り組むことをすべての人々にあらためて強く呼びかけます。

2017年11月16日 カトリック鹿児島司教座聖堂にて 第23回日韓カトリック司教交流会参加者

- 韓国カトリック司教協議会 YEOM Soo-jung 枢機卿、KIM Hee-joong 大司教、CHO Hwan-kil 大司教、PAK Jeong-il 司教、KANG U-il 司教、CHANG Yik 司教、CHANG Bong-hun 司教、LEE Ki-heon 司教、KWON Hyeok-ju 司教、RI Iong-hoon 司教、YOU Heung-sik 司教、CHO Kyu-man 司教、JUNG Shin-chul 司教、KIM Son-Tae 司教、MOON Chang-Woo 司教、OK Hyun-jin 司教、YU Gyoung-chon 司教、SON Hee Song 司教、CHANG Shin-ho 司教、KOO Yo Bi 司教、PARK Hyun-dong 修道院長

- 日本カトリック司教協議会 高見三明大司教、前田万葉大司教、岡田武夫大司教、菊地功大司教、押川壽夫司教、大塚喜直司教、梅村昌弘司教、松浦悟郎司教、宮原良治司教、郡山健次郎司教、平賀徹夫司教、諏訪榮治郎司教、浜口末男司教、勝谷太治司教、白浜満司教



第23回「日韓司教交流会」が11月14日、16日、島市で行われた。テーマは「高齢者と教会」。日本と韓国の教会それぞれ側の側から高齢者の問題を考察した。

最終日には共同平和声明「北東アジアの平和を願って」を掲げ、北東アジアにおいて軍拡競争ではなく、平和への対話努力を訴えた。

New Year gathering to celebrate the new adults

新成人を祝う教区新年のつどい 「7,300日、175,200時間をリセットして、新しい時を刻もう」

日時 1月21日(日) 14:00 司教ミサ (司教と青年委員会有志バンド演奏あり) 16:00 茶話会(無料) 17:00 終了予定 場所 ミサ: 布池司教座聖堂 茶話会: 地下ホール



# 名古屋教区一粒会2018年度から新制度へ

## 有志会員制から全員参加型へ

10月22日に一粒会臨時委員総会、続いて11月12日、臨時運営委員会を教区センターで開催し、一粒会の現制度「有志会員制」から「信者全員が会員」に変更するべく、具体的な検討を開始した。

10月22日に一粒会臨時委員総会、続いて11月12日、臨時運営委員会を教区センターで開催し、一粒会の現制度「有志会員制」から「信者全員が会員」に変更するべく、具体的な検討を開始した。

一粒会では、これまでの有志会員制では収入の飛躍的増加は見込まれないことから、有志の枠を外し、もっと多くの信者に一粒会を知ってもらい、献金額の増大に協力してもらいたい意向である。

2年前の委員総会時に松浦司教より、現在の有志会員制より「信者全員が会員」の提案が出され、それ以降、常任委員、小教区委員、一粒会



司教は「信者全員が司祭の召命を願う神学生を支える自覚を持つことが大事である」という考えを受け、一粒会が始まった。今年の委員総会で「2018年度より制度変更」を決定し、8月末の一粒会の集い終了後に具

体的検討に入るため、臨時委員総会、臨時運営委員会開催の予定を決めた。

名古屋教区一粒会は、87年ころ当時の相馬司教時代に立ち上げられ、97年に組織として会則が施行され、現在に至っている。この会則に有志会員制が定められているため、まず、それに関する条項の変更が必要であり、会則改定案に基づき臨時委員総会にて審議した。また、それに伴う活動、会計等の変更、廃止について委員総会と臨時

運営委員会で審議し決定した。臨時委員総会、臨時運営委員会で審議決定した事項

1. 有志会員制を信者全員が会員とする。
2. 現在の会員には引き継ぎ協力をお願いするが、会員番号、口数等は廃止する。
3. 上記2.と並行し、無記名での献金活動を実施し、自由に献金してもらう。
4. 一粒会PRチラシを作り直す。
5. その他

- ・制度変更のお知らせ2種類作成。
  - ・「現会員」あてに12月発送予定(松浦司教からの感謝メッセージも同封)
  - ・「主任司祭、信徒代表」あてに来年2月頃発送予定
  - ・詳しい内容については教区ニュース2月号または3月号に松浦司教より教区内全信者に向けてのメッセージを掲載する予定。
- (一粒会委員 西村由美子)

### 長崎・浦上教会

## 分裂・対立乗り越え 共に平和をめざす

### 宗教改革500年記念式典

宗教改革500年記念式典が11月23日午後、長崎カテドラル浦上教会で行われ、全国から約1300人の参加者が集まった。写真。日本福音ルーテル教会と日本カトリック教協議会の共催。テーマは「平和を実現する人は番崩れ」と呼ばれるキリ

スト教徒迫害から150年でもあり、被爆の地・浦上で、プロテスタントとカトリックが過去の分裂と対立を乗り越えようと企画された。

「すべての人を一つにしてください」のモットーで共同記念礼拝が行われ、前田万葉大司教(大阪教区)日本カトリック

司教協議会副会長、大柴譲治牧師(日本福音ルーテル教会エキムニズム委員会委員長)ほか、両教会の司教、司祭、牧師など100人以上が司式に立った。プロテスタント諸教派・団体、諸宗教関係者も招かれていた。

立山忠浩牧師(日本福音ルーテル教会総会議



長)と高見三明大司教(長崎教区)日本カトリック司教協議会会長)二人の説教に続いて、昨年10月にスウェーデンのルンド大聖堂で行われた宗教改革記念礼拝で出された

「共同声明」の分かち合いが行われた。カトリックの2司教とルーテルの2司教が抜粋された声明を読み合った。

共同祈願では、ドイツから招かれたドイツ福音

主義教会牧師やドイツ・カトリック司教協議会事務局長代行、また、ジョセフ・チェノソットウ駐日教皇大使が、教会一致と世界平和を祈った。

参加者や全国からの祈りの折り鳩も奉納され、エキムニカルなテゼの祈りなどが歌われた。

式典に先立つ午前には、以下のテーマと講師による講演会も行われた。

- (1)「長崎からの声―苦難の歴史を踏まえて―」橋本勲神父(カトリック中町教会主任)
- (2)「罪について」(それに拘わらずをいただく福音)石居基夫牧師(日本福音ルーテル教会、ルーテル/ローマ・カトリック共同委員会委員)
- (3)「エキムニズム、わたしたちの祈り求める平和と共生の未来」光延一郎神父(イエズス会司祭、ルーテル/ローマ・カトリック共同委員会委員)

### 東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	
	2011.3.17 発災から	2017.11.30までの合計
募金、ご寄付 収入合計	11/1~11/30 (※1) 294,347	28,498,257
ベース他支援 支出合計	0	27,827,821
	支援金残高合計	670,436

(※1) 11月度に支援金のご協力いただいた小教区、個人(敬称略) 小教区:金沢、一宮、恵方町、高蔵寺 個人:久米てる子

#### ★名古屋教区は

「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。ご連絡・問合せ先 <http://caritasjapan.jugem.jp>

#### ★支援金振込先

郵便振替用紙にて 口座番号 00880-6-1628 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

社会福祉委員会 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

### 福者「205殉教者」「ペトロ岐部と187殉教者」「ユスト高山右近殉教者」列福祈念募金のお願い

“日本の福者の列聖に向けて祈りましょう”

70年に及ぶ悲願であったユスト高山右近殉教者の列福が2017年2月3日に実現しました。

日本の殉教者たちは、日本の教会に留まらず、世界の教会にとって信仰の模範です。「205殉教者」「ペトロ岐部と187殉教者」「ユスト高山右近殉教者」の列聖に向けて、列聖推進委員会は広範に活動を進めます。

福者の列聖には、声望のあかしとして、奇跡の認定が必須条件です。列聖に向けて祈りを深め、活動を広め高めるために、皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

- 皆様からいただく献金は、つぎのように使われます。
- 日本の福者の霊性の理解を深めるための企画。
  - 福者を紹介するメディア類の制作。
  - 当司教協議会が主催・後援する列聖祈念の諸行事。
  - 列聖に向けた列聖推進委員会の準備作業。
  - 列聖に向けた運動の盛り上げ。

日本カトリック司教協議会列聖推進委員会 〒138-8585 東京都江東区潮見2-10-10 ☎03-5632-4445 FAX 03-5632-4465

#### ■郵便局からの振込み

口座記号番号 00120-1-451323 加入者名 (宗)カトリック中央協議会列聖口 小教区に配布済みの振込取扱票をご利用ください。

#### ■銀行ATM、ネットバンキング等からの振込み

ゆうちょ銀行〇一九支店(当座)9900-019-0451323 お振込後、委員会事務局に住所と名前、電話番号またはFAXでご連絡ください。

### 名古屋教区 殉教者祭のお知らせ

日時 2月3日(土) 10:30~

- ・ロザリオの祈り
- ・名古屋教区殉教者顕彰ミサ(司式)アウグスチノ野村純一名誉司教

場所 栄國寺境内キリシタン顕彰碑前(名古屋市中区橋1-21-38)

交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車4番出口北へ3分「下茶屋公園」交差点を西へ4分

ご注意 栄國寺には駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。

連絡 ・ロザリオをご持参下さい。  
・司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参下さい。  
・式場へは顕彰碑の南側広場(道路沿い)からお入り下さい。  
・顕彰碑、墓地が建立されている区画へはお入りにならないようお願いします。

問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会事務局 TEL 052-936-8366 FAX 052-935-2254



# 歌と語りによる黙想 信仰貫いたガラシヤの人間像描く

「歌と語りによる黙想」多治見教会で、11月19日、安城教会で公演された。多治見教会で、11月19日、安城教会で公演された。多治見教会で、11月19日、安城教会で公演された。多治見教会で、11月19日、安城教会で公演された。



多治見教会にて

安城教会にて

16世紀の戦国時代にあって、運命に翻弄されながらも真理を求め続け、短い生涯にも関わらずキリスト者としての信仰と自らの信念を貫いて生きてきた、ガラシヤ・細川たまの人間像が伝わる内容であった。公演後「ガラシヤの」となりがよくわかり理解できたので、とても満足した。「公演の質の高さに感動した」「ガラシヤがヨーロッパでオペラになった事を初めて知り、評価されていることに驚いた」「語りがあったので、時代背景もよく分かって良かった」「黙想会の時期にふさわしい内容だった」「私の教会でも公演してほしい」などの感想が聞かれた。

## 力障連第13回研修セミナー 人間は愛し合うため 存在し、生きている



講演する英隆一朗神父

カトリック南山学園研修センターで11月18日、日本カトリック障害者連絡協議会が主催する第13回研修セミナーが「福音を生きる」という優生思想に対抗してのテーマで

た被害者の名前は、保護者、家族会からの要望で匿名となった。なぜか？この背景には知的障害者の存在を隠すという差別意識がある。障害者は抹消されるという考えは、古く古事記の中にも見られ、日本人のごく初期の時代から優生思想が存在していたことがうかがえる。この事件の犯人は、障害者は生きていく意味がないといつて殺傷事件を起こしてしまったのだ。犯人は「互いに愛する」ということに巡り会わなかったため、こんな悲劇を起してしまったのだ。と説明した。

## 第8回安城教会国際ミュージックフェスティバルで共に賛美

第8回安城教会国際ミュージックフェスティバル(安城教会実行委員会・主催)が10月29日、国際ミサの後、聖堂とホールで開かれた。参加者の出身国は日本、フィリピン、韓国、ベトナム、ラテンアメリカ、ブラジル、中国(出演順)。参加者たちはこのフェスティバルを目標として練習に励み、その成果をそれぞれの国の言葉で熱く披露した。両曲とも永井隆の詩が使われている。第一部のトリはキッズコーラス。さまざまな国籍の18人のキッズと4人の先生が「ハレルヤ、ハレルヤ」を澄んだ声で元気よく歌い、力強い拍手が送られた。昼食後の第二部は、エイク・オザキさんは「さまざまな国の人たちが協力してくれたお陰でこのフェスティバルを開くことができました。今、世界はあちこちで争いが起こっていますが、これからも音楽を通していろいろな国の人たちと仲良くなっていければと思います」と語った。



元気いっぱいのキッズ・コーラス



聖歌を歌うフィリピングループ

優生思想は特定の人にある。順位を争ったり、弱人を切り捨てたり、と身近に潜んでいることに

### 書籍案内《1年のはじまりにおすすめの書籍》

#### 「教皇フランシスコのことば365」

女子パウロ会出版 ¥1,296 (税込)

さまざまな場面で語られた教皇フランシスコの言葉、想いあふれるフレーズが集められています。1日1ページ、毎日を豊かな祈りの日へと変えてくれます。一度見て気に入ったら、手元に一冊置きましょう。

#### 「教皇フランシスコとともに 日々の内省」

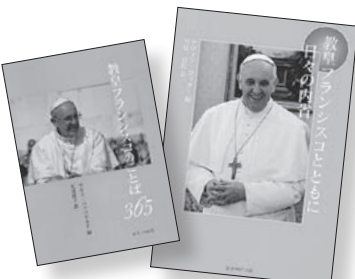
女子パウロ会 1,404円 (税込)

一見、単純に思える教皇フランシスコのことばは、読むほどに深い味わいをもっている。毎日を教皇とともに神に近づこう。

#### 「祈りの泉~365のことば~」

女子パウロ会 1,620円 (税込)

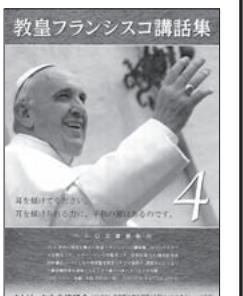
聖書、聖人、有名人の祈りに関する言葉を365日にわたって集めました。月ごとにテーマを設け、月のはじめにはそのテーマに関する導入文があり、後は、一日ひとつ、短い言葉が載っています。1月から始まって12月に向け、だんだんに祈りの深みへと導かれるように構成されています。毎朝、大切な言葉をいただくためにこの本の扉を開く、そんな思いになる本です。



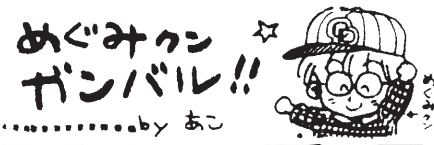
### 新刊書のご案内

カトリック中央協議会出版部より3冊の書籍が発行されました。福音宣教のため、また信仰生活の深化のためにもご利用ください。

- ① 日本カトリック司教協議会「イヤーブック2018」定価1,404円 巻頭特集は「1 ユスト高山右近列福式ミサ」「2 教皇庁福音宣教省長官フィローニ枢機卿来日」写真を多数収録。
② 教皇フランシスコ講話集4 (ペトロ文庫) 定価972円 2016年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。WYD クラックフ大会閉会ミサ、マザー・テレサ列聖式ミサ、宗教改革500周年記念合同祈祷会などを収録。
③ 「ニケア・コンスタンチノーブル信条」使徒信条の旋律(伴奏用) 490円
お問い合わせ、ご注文は下記宛
カトリック中央協議会・出版部
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429 / FAX 03-5632-4456







めぐみカン  
ガンバレ!!  
.....by あこ

書き初め♪  
新しいわね? テキニ新しい  
信  
愛  
信  
愛



困  
見困った顔ね  
はあ? 何だぞこの顔  
見たいぞこれの? はあ?  
困

中国の漢字  
お友達に教え  
もらったんだ  
トホホな顔に  
見えてるけど  
本当は  
ささかっ  
ってさ  
なんだ  
って  
意味  
光



賀正  
2018  
異文化に学ぶ  
意地でも前向き!!

★困みにjiang(ジョ)と発音します(笑)。

1月の教会暦  
1日(祝) 祝日(祝) 記念日  
2日(祝) 世界平和の日  
3日(祝) 聖バジリオ聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士(記)  
4日(祝) 主の公現(祭)  
5日(祝) 主の洗礼(祝)  
6日(祝) 年間第2主日  
7日(祝) 年間第1主日  
8日(祝) 聖アントニオ修道院長(記)  
9日(祝) キリスト教一致祈禱週間  
10日(祝) 年間第3主日  
11日(祝) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)  
12日(祝) 聖パウロの回心(祝)  
13日(祝) 聖テモテ聖テトス司教(記)  
14日(祝) 年間第4主日  
15日(祝) 世界こども助け合いの日 (献金)  
16日(祝) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)  
17日(祝) 年間第5主日  
18日(祝) 年間第6主日  
19日(祝) 世界病者の日  
20日(祝) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
21日(祝) 四旬節第1主日  
22日(祝) 四旬節第2主日

1月  
4日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

2月の教会暦(主日・祭日など)  
1日(木) 年間第5主日  
4日(日) 祝年間第6主日  
11日(日) 世界病者の日  
14日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
18日(日) 四旬節第1主日  
25日(日) 四旬節第2主日

1月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

1月の教会暦  
1日(祝) 祝日(祝) 記念日  
2日(祝) 世界平和の日  
3日(祝) 聖バジリオ聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士(記)  
4日(祝) 主の公現(祭)  
5日(祝) 主の洗礼(祝)  
6日(祝) 年間第2主日  
7日(祝) 年間第1主日  
8日(祝) 聖アントニオ修道院長(記)  
9日(祝) キリスト教一致祈禱週間  
10日(祝) 年間第3主日  
11日(祝) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)  
12日(祝) 聖パウロの回心(祝)  
13日(祝) 聖テモテ聖テトス司教(記)  
14日(祝) 年間第4主日  
15日(祝) 世界こども助け合いの日 (献金)  
16日(祝) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)  
17日(祝) 年間第5主日  
18日(祝) 年間第6主日  
19日(祝) 世界病者の日  
20日(祝) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
21日(祝) 四旬節第1主日  
22日(祝) 四旬節第2主日

2月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

1月の教会暦  
1日(祝) 祝日(祝) 記念日  
2日(祝) 世界平和の日  
3日(祝) 聖バジリオ聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士(記)  
4日(祝) 主の公現(祭)  
5日(祝) 主の洗礼(祝)  
6日(祝) 年間第2主日  
7日(祝) 年間第1主日  
8日(祝) 聖アントニオ修道院長(記)  
9日(祝) キリスト教一致祈禱週間  
10日(祝) 年間第3主日  
11日(祝) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)  
12日(祝) 聖パウロの回心(祝)  
13日(祝) 聖テモテ聖テトス司教(記)  
14日(祝) 年間第4主日  
15日(祝) 世界こども助け合いの日 (献金)  
16日(祝) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)  
17日(祝) 年間第5主日  
18日(祝) 年間第6主日  
19日(祝) 世界病者の日  
20日(祝) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
21日(祝) 四旬節第1主日  
22日(祝) 四旬節第2主日

2月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

2月の教会暦(主日・祭日など)  
1日(木) 年間第5主日  
4日(日) 祝年間第6主日  
11日(日) 世界病者の日  
14日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
18日(日) 四旬節第1主日  
25日(日) 四旬節第2主日

1月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

1月の教会暦  
1日(祝) 祝日(祝) 記念日  
2日(祝) 世界平和の日  
3日(祝) 聖バジリオ聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士(記)  
4日(祝) 主の公現(祭)  
5日(祝) 主の洗礼(祝)  
6日(祝) 年間第2主日  
7日(祝) 年間第1主日  
8日(祝) 聖アントニオ修道院長(記)  
9日(祝) キリスト教一致祈禱週間  
10日(祝) 年間第3主日  
11日(祝) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)  
12日(祝) 聖パウロの回心(祝)  
13日(祝) 聖テモテ聖テトス司教(記)  
14日(祝) 年間第4主日  
15日(祝) 世界こども助け合いの日 (献金)  
16日(祝) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)  
17日(祝) 年間第5主日  
18日(祝) 年間第6主日  
19日(祝) 世界病者の日  
20日(祝) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
21日(祝) 四旬節第1主日  
22日(祝) 四旬節第2主日

2月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

2月の教会暦(主日・祭日など)  
1日(木) 年間第5主日  
4日(日) 祝年間第6主日  
11日(日) 世界病者の日  
14日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
18日(日) 四旬節第1主日  
25日(日) 四旬節第2主日

1月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

1月の教会暦  
1日(祝) 祝日(祝) 記念日  
2日(祝) 世界平和の日  
3日(祝) 聖バジリオ聖グレゴリオ (ナジアンズ) 司教教会博士(記)  
4日(祝) 主の公現(祭)  
5日(祝) 主の洗礼(祝)  
6日(祝) 年間第2主日  
7日(祝) 年間第1主日  
8日(祝) 聖アントニオ修道院長(記)  
9日(祝) キリスト教一致祈禱週間  
10日(祝) 年間第3主日  
11日(祝) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)  
12日(祝) 聖パウロの回心(祝)  
13日(祝) 聖テモテ聖テトス司教(記)  
14日(祝) 年間第4主日  
15日(祝) 世界こども助け合いの日 (献金)  
16日(祝) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)  
17日(祝) 年間第5主日  
18日(祝) 年間第6主日  
19日(祝) 世界病者の日  
20日(祝) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
21日(祝) 四旬節第1主日  
22日(祝) 四旬節第2主日

2月  
1日(木) 教区事務所仕事始め  
8日(月) 祝濃尾B会議  
9日(火) 樹の会  
13日(土) 共助連絡会  
14日(日) 三河B会議/城東B会議  
教区中高生会

「1分間の黙想 祈りの力」  
日本聖書協会 ¥1,944 (税込)

1日ごとの聖書の言葉(新共同訳)、黙想、そして力強い祈りを1年366日分収録。いつからでも読み始められ、通年使えます。毎年くり返し用いても、聖書の言葉を通して新たに力を与えられ、日々豊かな祈りの時を過ごせるでしょう。装丁も丈夫な合成皮革なので、持ち運びも便利です。  
1日分は、A6判(文庫本サイズ)よりわずかに小さな1ページ。どこにいても短い時間で、聖書の言葉を思い巡らせ、祈ることができます。

17日(土) 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ  
19日(月) 23日(金) 司教総会

告知板  
福信館便り ☎052(935)7180  
◆1月の炊き出し 木 4日 布池  
11日 東海・樹の会・南山、18日 聖霊・樹の会・南山、25日 城北橋、金 5日 喜望の会、12日 喜望の会、19日 布池、26日 長浦

人事のお知らせ  
名古屋教区 日比野教会・八熊教会(主任司教は古川利雅神父) 助任司祭 ウィリフリドス・ペトルス・ソバ神父(12月1日付)  
那覇教区 教皇フランシスコは、那覇教区・押川壽夫司教の引退願いを受理し、同教区与那原教会主任司祭 ウェイン・バーント神父(カプチン会)を新しい司教として任命した。  
叙階式は2月12日14時より、沖縄・安里教会で行われる。

572件 28,660,675円  
目標額 40,000,000円 (11月末)

建設費の返済に協力を

郵便振替 00810-5-50605  
加入者名 カトリック名古屋教区  
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

『あとから来る者のために』  
原発研修会

どなたでも、お気軽にご参加ください。

日時 2月10日(土) 13:30~15:00  
場所 カトリック布池教会信徒会館  
名古屋市東区葵1丁目12-23  
参加費 200円(資料代他)  
主催 次世代を考える会  
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

2017年度名古屋教区 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ  
「移民・移住者の司牧について」(全4回)

第4回 2月17日(土) 「これからの移民・移住者の司牧について」  
講演者: 松浦悟郎司教(名古屋教区司教)

時間 13:30~15:30  
場所 カトリック教区センター2階 名古屋市東区葵町2丁目6-35  
地下鉄東山線 新栄町駅2番出口 北東へ徒歩5分  
問合せ カトリック安城教会主任司祭 アントニー神父 ☎0566-98-7766  
八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)  
主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会 / 名古屋教区正義と平和委員会

第13回 ホスピス聖霊講演会

日時 2月24日(土) 13:00開場 13:30~15:10講演  
会場 聖霊病院2階聖霊ホール  
テーマ 「今を生きるコツ」一より良く生きるために一  
講師 沼野尚子氏(宝塚市立病院 緩和ケア病院チャプレン・カウンセラー)

対象 一般  
定員 160名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)  
申込み 入場無料ですがホスピス聖霊のためにご寄附を...  
締切り 往復はがき、またはEメールで  
問合せ 2月16日(金) 必着  
〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56  
聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係  
☎052-832-1181 (内線3316)  
Eメール katosha@seirei-hospital.org

主催 聖霊病院ホスピス聖霊推進委員会  
後援 ホスピス聖霊後援会(ぶどうの会)

「青年のための聖書の学び」

日時 1月28日(日) 14:00~19:50  
高校生は16:30まで  
テーマ 「偽善者よ...どうして今の時を見分けることを知らないのか」ルカ12章  
対象 青年男女(18~32歳)  
詳細 13:30玄関を開門 14:00聖書「学び」  
15:00「個人の祈り」 15:30分かち合い  
16:00~16:30おやつ  
16:30~17:30(生活の分かち合い、個人の祈り、霊的読書、散歩など)  
共同体と共に祈りと食事  
17:45~ご聖体礼拝、晩の祈り、夕食  
食費は自由献金  
19:45~斜明、サルヴェ・レジナ、終了

連絡先 名古屋市千種区園山町1-56  
聖マリアの無原罪教育宣教修道会  
☎052-782-5850 担当者 シスター錠(いかり)政子

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」  
第2日曜日14:00~(40分程度)  
2018年1月14日(日)・2月11日(日・祝)・3月休み

「読書会」  
第3土曜日14:00~15:30  
「パウロの福音」を用います。  
2018年1月20日(土)・2月17日(土)・3月17日(土)

年末年始の予定  
12月29日(金) 10:00~午前中のみ開店  
12月30日(土)~2018年1月3日(水) お休み  
1月4日(木) より通常通り開店

~ 信仰講座のご案内 ~

テーマ 「実りある四旬節を過ごし、復活の喜びを味わうために」  
講座日 2018年1月17日(水)・24日(水)・31日(水)・2月7日(水)  
時間 10:00~11:30  
場所 聖パウロ書院 1階ホール  
参加費 6,000円(4回の講座分です)  
「イエス・キリストが死と復活をもって、私達に永遠の命を与えて下さった」この重要なことから講師を招いて4回の講座で学びます。  
問合せ/申込み  
聖パウロ書院 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-2  
Tel 052-936-4443 Fax 052-799-4461  
e-mail: nagoya-shoin@pauline.or.jp

ラビリンズメディテーションへのおさそい

日程	テーマ
6 1月27日(土)	「心の貧しい人は幸い」
7 2月24日(土)	「これはわたしの愛する子」

時間 毎回13:30~16:30  
場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)  
名古屋市昭和区八事本町1  
参加費 200円 問合せ ☎052-832-0434

主にささげる24時間~聖体礼拝

2017年10月より主税町記念聖堂で月に2回、聖体礼拝が行われています。また開始時と終了時にはミサが行われます。どうぞご参加ください。

日時 毎月第2・第4 木曜日 19:00 ~ 金曜日 19:00  
場所 主税町記念聖堂  
主催 カトリック名古屋教区  
責任者 平田政信神父  
問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223  
平田政信神父の携帯電話 090-1623-1170